

調査

早春の高知を彩る春の風物詩「土佐のおきやく」開宴

土佐の「おきやく」2024 経済波及効果10億3,486万円

株式会社四銀地域経済研究所
調査部主任研究員 山本 翔太郎



観光客が低迷する早春の名物イベントとしてスタートした土佐の「おきやく」は、今年で第17回目の開催となった。2024年3月2日（土）～10日（日）の9日間、高知市中心商店街を中心に、宴（うたげ）、ラリー、市（マーケット）、音楽・踊り、アート&カルチャー、スポーツなど40を超えるイベントで賑わった。

～土佐の「おきゃく」Q & A～

Q: そもそも「おきゃく」ってなに？

A: 土佐弁で「宴会」の意味です！

土佐では昔から、冠婚葬祭などことあるごとに大勢で集まっては酒を飲み、親交を深めてきました。そうした宴会を「お客（おきゃく）」と言います。参加する人は親族だけでなく、村・町の人、はたまた偶然となり合わせた人など、誰でも気さくに参加できるのが土佐流の宴会です。



土佐の「おきゃく」2024
実行委員長
土佐かつお

Q: どんなイベントなの？

A: 中心街など、様々な場所を会場にした大きな宴会！

高知の中心街をはじめ、さまざまな場所を宴会場にみたくて、個性豊かなイベントを開催します。「おきゃく」＝「宴会」ですので、基本、お酒が楽しめる大人向けの宴が繰り上げられますが、どれも「まあ、のんでいきや」と、土佐人のもてなしの文化に触れられる高知らしいイベントです。

酒、グルメ、音楽、アート、よさこい踊りなど、様々なイベントでもてなします。土佐の「おきゃく」に來れば高知の全てが分かると言っても過言ではありません。

高知ならではの当地グルメや地酒などを楽しめる土佐の「おきゃく」



音楽、よさこい踊りなど、様々なイベントが楽しめる
(左：ラ・ラ・ラ春まつり、右：よさこい春の舞)



Q：人気の秘密を教えてください！

A：スタッフのもてなしの心が県外ゲストを虜に！

「高知の楽しさを知ってほしい」「美味しいものを食べてほしい」「また高知に来てほしい」という、イベントの各主催者のもてなしの心や熱い思いが人気の秘密だと感じています。土佐の人はどんな人でも暖かく受け入れ、その人に喜んでもらうことを最大の喜びと感じているので、初めて訪れた人も自然と馴染んでしまうはずです。



はりまやの大おきゃく



安芸のおきゃく



NIGHT 倶楽部魚の棚商店街



ハマスイおきゃく（桂浜水族館）



Q:「おきゃく」文化に欠かせない皿鉢と酒。特色は？

A:「献上の美德」が表れた土佐の文化そのもの！

皿鉢料理とは高知県の郷土料理で、大皿に刺身や寿司、煮物、酒肴、デザートなどが盛り合わされたものです。土佐の「おきゃく」も皿鉢料理のように、様々な味わいの違うイベントを一堂に楽しめます。また、新型コロナウイルス感染症の拡大以降自粛傾向が強くなっていますが、高知の宴では「返杯」「献杯」という習慣があります。「返杯」は、相手からさされた杯のお酒を飲み干して、その杯を相手に返しお酒をつぐことで、「献杯」は、目上の人や尊敬する人にお酒を差し上げ、逆に杯を返して頂き、教えを頂戴しながらお酒を飲むというものです。いずれも「献上の美德」が表れた土佐の文化そのものです。

べろべろの神様



©デハラユキノリ
©土佐のおきゃく

様々な皿鉢料理が展示される「南国土佐皿鉢祭」



Q: ゆっくりとお座敷遊びを楽しみたい！

A: 酒國・土佐の酒席文化を楽しむなら、「お座敷体験」へ！

「はし拳」や「可杯（べくはい）」、「菊の花」や「しばてん踊り」など、土佐の宴会を盛り上げる「お座敷遊び」が一度に体験できる「土佐のお座敷体験」。高知の地酒と料理を嗜みながら楽しむことができます。



©デハラユキノリ
©土佐のおきやく

土佐のお座敷体験



土佐のお座敷遊びに欠かせない
「はし拳」「可杯（べくはい）」「菊の花」



【要旨】

- 2024年3月2日（土）～10日（日）の9日間、17回目の通常開催となる土佐の「おきやく」が開催された。
- **土佐の「おきやく」2024の来場者数は90,186人、経済波及効果は10億3,486万円となった。**コロナ5類移行前で、感染症対策を十分に施しながら開催された前回2023年と比較して、期間中のイベント数が大幅に増えた（2023年：28イベント→2024年：43イベント）ほか、中央公園以外の地域で多様なイベントが開催されたことにより、来場者数・経済波及効果ともに2006年の調査開始以降最大となった。また土佐の「おきやく」期間中の休日4日間、メインイベントが開催された中央公園では、2023年の2倍以上の来場者となり、コロナ前の水準を大幅に上回った。
- 今後も魅力的なイベントを様々な地域で多数開催し、効果的な情報発信を行うことで、県内の幅広い地域に「おきやく」の効果が広がっていくことが期待される。

はじめに

本報告書は、高知県の食文化を体験できる早春の一大イベント、土佐の「おきゃく」によって高知県経済にもたらされる経済波及効果を調査・把握し、高知県観光振興の一助を担うことを目的とする。

1. 土佐の「おきゃく」開催の経緯

2005年、土佐経済同友会観光振興委員会において、高知県の観光振興策を議論するなか、四季折々、観光誘客が図れるスーパーイベントを開催することが観光振興には欠かせない、との結論に達した。高知県には、春の「お城祭り」、夏には「よさこい祭り」というスーパーイベントがあり、秋には「龍馬誕生祭」があるものの、冬は「南国土佐皿鉢祭」だけで、ボリュームと奥行きに欠けるとの認識があった。

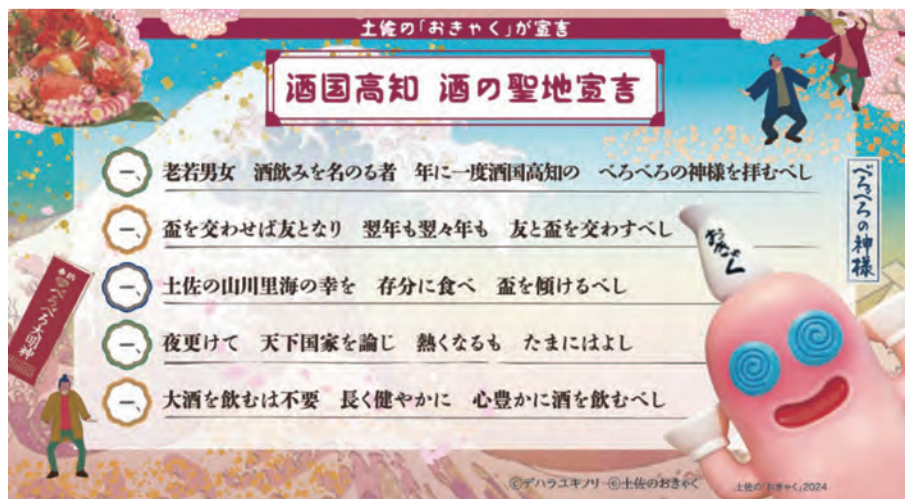
そのような中、観光客数が低迷する冬場に観光客数を増加させるスーパーイベントを開催し、高知県の観光振興を図るとともに、高知県経済への波及効果を狙い、高知の元気へつなげていこうと、2005年9月、「NPO 法人高知の食を考える会」、「土佐経済同友会観光振興委員会」などが中心となって事務局を立ち上げた。その後、運営において実質的な役割を果たす「実行委員会」が発足。実行委員会をサポートし、円滑な事業運営のための後方支援組織として「推進会議」が発足した。

そして2006年に、3月2日のプレ開催日を含め12日まで第1回目の土佐の「おきゃく」2006が開催された。以降、毎年3月初旬に開催されている。

2. 土佐の「おきゃく」2024概要

- (1) イベント名称 土佐の「おきゃく」2024
- (2) 開催期間 2024年3月2日（土）～3月10日（日）の9日間
- (3) 会場 中央公園他
- (4) 出店団体 93団体
- (5) 同時開催 第10回全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐（3月2日）

高知県の自然豊かな食材を使った料理や地酒などが堪能できる「ご当地グルメ屋台村」や「土佐の大座敷」、アーケード内にこたつと七輪が設置され、ゆっくり座って家族やパートナー、友人などで楽しめる「はりまやの大おきゃく」など、「食」をはじめ、「アート」、「スポーツ」、「文化」などをテーマに、延べ43のイベントが行われた。また、「第10回全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐」とのコラボイベントが開催された他、「安芸のおきゃく」や「桂浜おきゃく花のフードフェス～桂浜公園周年祭～」など、高知市中心市街地以外でのイベントの広がりもあり、県内外から多くの来場者で賑わった。



3. 土佐の「おきやく」2024スケジュール

イベント名	開催場所	主催者	3月2日	3月3日	3月4日	3月5日	3月6日	3月7日	3月8日	3月9日	3月10日
			土	日	月	火	水	木	金	土	日
1 飲みもって食べもって寄附ぎふと	県内の協賛飲食店各店	認定NPO法人NPO高知市民会議	※各店舗の営業時間に準ずる								
2 ひろめdeおきやく	ひろめ市場内	(有) ひろめカンパニー	10:00～ 23:00	9:00～ 23:00	10:00～ 23:00	10:00～ 23:00	10:00～ 23:00	10:00～ 23:00	10:00～ 23:00	10:00～ 23:00	9:00～ 23:00
3 ハマスイおきやく	桂浜水族館	(公社) 桂浜水族館	10:00～ 16:00	10:00～ 16:00						10:00～ 16:00	10:00～ 16:00
4 ご当地グルメ舞台村	中央公園	土佐の「おきやく」事務局	10:00～ 21:00	10:00～ 21:00							
5 ラ・ラ・ラ春祭り	中央公園、帯屋町公園	高知街ララ音楽祭実行委員会	11:00～ 16:00	11:00～ 20:00							
6 あった会グルメ横丁	帯屋町アーケード	高知県業種交流会 あった会	11:00～ 20:00頃	11:00～ 20:00頃							
7 (こ) まんさい	はりまや橋商店街西詰	こうちまんがフェスティバル実行委員会	11:00～ 15:30	11:00～ 15:30							
8 山形観光／石川県小松空港のPRイベント	中央公園	高知県交通運輸政策課	10:00～ 19:00	10:00～ 19:00							
9 第9回全国漫画家大会議 inまんが王国・土佐	中央公園	まんが王国・土佐推進協議会	18:00～ 20:00								
10 サンキュー・巡業の旅	中央公園	ジェットスター・ジャパン (株)	10:00～ 15:00								
11 ワイナリーで音楽とワインでおきやく	マチナカプラス	よさ来いワイナリー	11:00～ 15:00								
12 食の祭典第56回南国土佐皿鉢祭	大橋通り商店街 ひろめ市場前広場	南国土佐皿鉢まつり実施運営委員会	10:00～ 16:00								
13 第13回土佐・ぶんたん祭	中央公園北口	土佐文旦振興対策協議会	10:00～ 17:00								
14 おびさんマルシェ	おびさんロード商店街全域	おびさんマルシェ実行委員会	11:00～ 日没まで								11:00～ 日没まで
15 第36回ドリンクラリーはしご酒大会	各飲食店 受付:帯屋町バラソーレ下	高知県社交飲食生活衛生同業組合			18:00～ 20:30	18:00～ 20:30	18:00～ 20:30				
16 土佐のお産敷体験・土佐の酒肴	ホテル おおりや (3月5日) ホテル 真砂 (3月8日) 土佐御苑 (3月9日)	高知市旅館ホテル協同組合				18:30～ 20:30			18:30～ 20:30	18:30～ 20:30	
17 物部川流域まったりお酒バスツアー	TOSACO TAP STAND 高木酒造 井上ワイナリーのいち醸造所&SHOP	ものべ川流域 醸造酒まったりバスツ アー実行委員会					10:00～ 16:30				
18 オールドアメリカンフェスティバル	中央公園	アメフェス実行委員会							17:00～ 22:00		
19 おきやく電車2024	路面電車内 (高知駅から運行)	とさでん交通 (株)							19:00～		
20 中華でおきやく	ザクラウンパレス新阪急高知	ザクラウンパレス新阪急高知							18:30～ 20:30		
21 土佐の大座敷	中央公園	土佐の「おきやく」事務局								10:00～ 19:00	10:00～ 19:00
22 レッツ！抽選チャレンジ	中央公園	高知県遊技業協同組合								10:00～ 19:00	10:00～ 19:00
23 バーガーフェスin中央公園	中央公園	(株) キングダム								10:00～ 19:00	10:00～ 19:00
24 井上ワイナリー&松原ミート ワイン肉フェス	中央公園	井上ワイナリー、松原ミート								10:00～ 19:00	10:00～ 19:00
25 MOTTAINAIキャンペーンKOCHI～モッタ イナイは世界中のアイコトバ～	中央公園	高知県喫茶飲食生活衛生同業組合								10:00～ 19:00	10:00～ 19:00
26 はりまやの大おきやく	はりまや橋商店街	はりまや橋商店街おきやく実行委員会								15:30～ 21:30	15:30～ 21:30
27 NIGHT倶楽部魚の欄商店街	魚の欄商店街	魚の欄商店街協同組合								16:00～ 21:00	16:00～ 21:00
28 高知YEGワイワイ帯バラ屋台	帯屋町バラソーレ下	高知商工会議所青年部								11:00～ 21:00	11:00～ 21:00

	イベント名	開催場所	主催者	3月2日 土	3月3日 日	3月4日 月	3月5日 火	3月6日 水	3月7日 木	3月8日 金	3月9日 土	3月10日 日
29	桂浜おきゃく花のフードフェス ～桂浜公園周年祭～	桂浜公園	桂浜公園管理事務所								10:00～ 16:00	10:00～ 16:00
30	出張 マルエフ横丁	中央公園	アサヒビール（株）								10:00～ 19:00	10:00～ 19:00
31	高知県東部でぶろくお客列車	ごめん・なはり線の列車内	土佐くろしお鉄道（株）								11:30～ 15:00	
32	安芸のおきゃく	安芸ちりめんじゃこ通り	虎組								10:00～	
33	よさこい春の舞	中央公園ステージ	高知市商店街振興組合連合会青年部								17:00～ 20:30	
34	最新のカラオケLIVEDAM AIRでうたおう2024	中央公園ステージ	（株）第一興商高知支店								11:30～ 12:30	
35	FDA 土佐のおきゃく2024	中央公園	（株）フジドリームエアラインズ								10:00～ 16:00	
36	ジャンピングマックスJAPAN2024	帯屋町1丁目アーケード	（株）ドリームメーカー スポーツマックス								12:00～ 18:00	
37	高知市内のワイナリーでおきゃく	マチナカプラス	よさ来いワイナリー								11:00～ 15:00	
38	ラテンミュージックフェスタ	帯屋町公園	obrigado花山海									10:00～ 16:00
39	高知を送ろうギフト大賞 受賞者表彰式	中央公園	高知県産業振興推進部 地産地消外商課									13:30～ 13:45
40	ニンジャマックス2024	帯屋町1丁目アーケード	（株）ドリームメーカー スポーツマックス									12:00～ 16:30
41	ザ・綱引き2024遠藤青汁カップ	帯屋町1丁目アーケード	高知県綱引連盟									11:00～ 16:00
42	高知の野球「プロアマ対抗戦！」	高知市営球場	高知ファイティングドッグス									12:30～
43	高知の城下の音楽祭	オーテピア西敷地	（財）こうち文化福祉振興財団									10:00～ 16:00

4. 経済波及効果の推計における前提条件

（1）「2015年（平成27年）高知県産業連関表」をもとに、高知県（産業振興推進部統計分析課）が作成した「県経済波及効果簡易分析ツール（イベント開催用）」を用いて、経済波及効果（生産誘発額）の推計を行った。

従って、2016年以降の産業構造の変化や物価動向については勘案していない。

（2）総消費支出額（直接需要額）の算定については、イベント実施企業や団体、及び来場者に対してヒアリング、アンケート調査を行った。

●調査対象企業（団体）数 93 回答企業（団体）数 54 回収率58.1%

●来場者アンケート数 300

（土佐の「おきゃく」期間中のうち、2024年3月9日（土）、3月10日（日）の2日間、中央公園にて実施）

（3）直接の消費需要により必要とされる消費財の一部のものについては、高知県外からの移輸入によって賄われるものとし、その他のものは自給可能とした。

（4）来場者数

来場者数は、メインイベントが開催された中央公園での集計（3月2～3日、3月6日、3月8～10日の6日間）をベースに、来場者、イベント実施企業・団体からのアンケート結果を踏まえ推計した（図表－1）。

図表－１ 来場者数推計

	高知県内		高知県外		合計
	日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客	
来場者数	81,084 人	1,213 人	2,731 人	5,158 人	90,186 人
構成比	89.9%	1.3%	3.0%	5.7%	100%

※各構成比は小数点第２位以下を四捨五入しているため、合計値は100%とならない

なお今回の調査は、あくまでも土佐の「おきゃく」2024の経済波及効果調査であり「観光入込客数調査」ではないため、土佐の「おきゃく」2024の全43イベント（調査団体（企業）数93）の購入客、参加者、観光客のみを対象とした。

例えば、「土佐のお座敷体験、土佐の酒肴」に参加した観光客は、明らかに「土佐のお座敷体験、土佐の酒肴」に参加したい意思を持って来場しているため、全員来場者数としてカウントする。一方、「ひろめ de おきゃく」のような、土佐の「おきゃく」用の特別な囲いもなく、イベント名（土佐の「おきゃく」）を付しただけのイベントにおいては、その多くは土佐の「おきゃく」のイベントであることを理由に来場していないと考えられ、単純な延べ人数を土佐の「おきゃく」の来場者数とするのは過大集計となる。

イベントの場合、土佐の「おきゃく」開催期間中に来場された観光客のうち、「インターネットや雑誌記事、テレビなどをみて行きたいと思った」「知らずに来たが、開催していることを知りイベントに参加した」人たちを土佐の「おきゃく」の来場者数としてカウントすることがより正確となるため、今回もそれに則り集計した。

また、同日開催で同一人が重複してイベントに参加、食事、観覧した可能性があることから、回答のあった全てのイベントごとに来場者数、観光消費額などを調査、補正の上集計した。

（５）一人当たり観光消費額

一人当たりの観光消費額は、来場者へのアンケート結果を踏まえ推計した（図表－２）。

図表－２ 一人当たり観光消費額推計

	高知県内		高知県外	
	日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客
宿泊費	—	11,688 円	—	12,283 円
飲食費	3,234 円	7,800 円	3,985 円	11,074 円
交通費	353 円	2,344 円	4,154 円	11,963 円
土産代	672 円	2,250 円	3,519 円	5,331 円
その他	58 円	181 円	115 円	847 円
合 計	4,317 円	24,263 円	11,773 円	41,498 円

(6) 土佐の「おきゃく」2024の総消費支出額（直接需要額）

土佐の「おきゃく」2024の総消費支出額（直接需要額）推計は、8億5,701万円となった。内訳を見ると、来場者による観光消費額（来場者数、一人当たりの観光消費額などの推計をベースに算出）が8億3,044万円、主催者・参加企業（団体）による直接経費が2,657万円となった。（図表－3）。

図表－3 総消費支出額（直接需要額）内訳

主催者などの事業費	2,657 万円
来場者による観光消費額	8 億 3,044 万円
合計	8 億 5,701 万円

5. 経済波及効果について

イベントが開催されると、それに伴った様々な需要が発生し、地域全体に経済的な影響を及ぼすが、こうした経済波及効果は、主に3つに大別される（図表－4）。

(1) 直接効果

直接効果とは、当初需要により生じる最初の生産増加額を指す。

具体的には、下記のような総消費支出額（直接需要額）のうち、県内で調達できるものについて生じる効果となる。調達できない一部の需要については県外から移輸入してくることになり、県内での生産活動には結びつかないため、経済波及効果の分析上では除外する。

【イベント主催者が直接支出する経費】

パンフレット作成のための印刷・編集費、会場の展示・装飾費用、会場費、レセプション費用、スタッフのための飲食費・交通費、アルバイトなどの臨時雇用費用など。

【来場客（観光客）が個人的に支出する消費】

宿泊費、飲食費、買い物費、会場までの交通費、観光・レジャー費など。

(2) 間接1次波及効果

間接1次波及効果とは、直接効果によって生産が増加した産業で必要となる原材料など（財やサービス）を満たすために、新たに発生する県内生産の誘発効果を指す。例えば、自動車100台分の需要が増加し、全て県内で賄えた場合、直接効果としては車100台分の金額となるが、車を製造するために使われる部品（タイヤ・エンジンなど）、そしてその部品を作るための材料（鉄、ガラスなど）が波及的に生産される。このうち、県内で波及的に生産された部品や材料などの総額が間接1次波及効果となる。

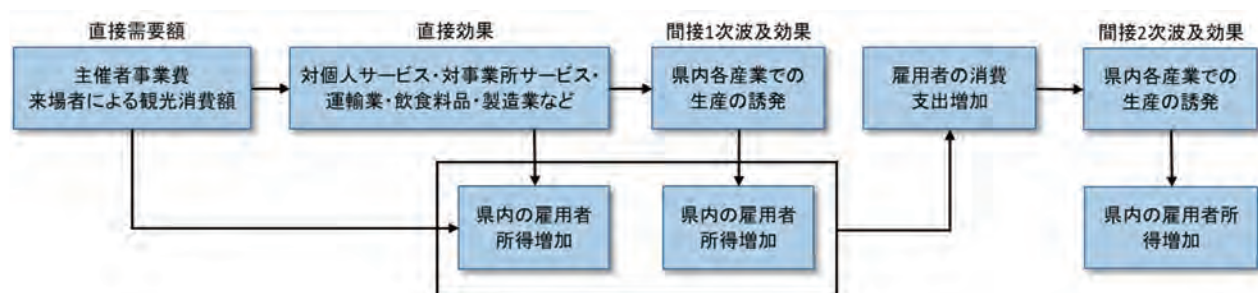
(3) 間接2次波及効果

直接効果、並びに間接1次波及効果により雇用者所得が増加すると、一定の割合で消費支出に回されるため、県内の各産業で更なる生産が誘発される。この経済波及効果を間接2次波及効果という。

なお、直接効果、間接1次波及効果によって生じる付加価値は、雇用者所得のほかに企業利益に相当する営業余剰がある。雇用者所得に対する消費の比率（消費性向）はある程度安定的であるが、

営業余剰に対する企業の支出（設備投資など）は安定的でないことから、間接2次波及効果の計算に当たっては、一般的に営業余剰は対象外とする。

図表－4 土佐の「おきゃく」2024 経済波及効果推計の流れ



6. 経済波及効果は10億3,486万円（直接効果に対し1.50倍）

（1）経済波及効果

土佐の「おきゃく」2024における経済波及効果は10億3,486万円となった。内訳は、直接効果6億8,987万円、間接1次波及効果2億3,055万円、間接2次波及効果1億1,444万円となり、直接効果に対する経済波及効果は1.50倍となった（図表－5）。

図表－5 土佐の「おきゃく」2024の経済波及効果

（単位：千円）

	生産誘発額	粗付加価値 誘発額	雇用者所得 誘発額	雇用効果 （人）	税収効果 県税＋市町村税
直接効果①	689,871	354,758	198,940	101	21,599
間接1次波及効果②	230,547	130,717	67,317	22	8,430
間接2次波及効果③	114,441	74,550	33,508	10	4,881
経済波及効果（生産誘発額） （①＋②＋③）	1,034,860	560,025	299,765	133	34,911
直接支出額	857,012	（直接効果＋移輸入＋雇用者所得）			
直接効果に対する 経済波及効果	1.50	＝総合効果／直接効果			

（注）1. 内訳の各数値を四捨五入するため、内訳と合計の数値は必ずしも一致しないことがある。

2. 生産誘発額 直接需要額により誘発された各部門の生産額

3. 粗付加価値額 生産活動によって新たに生み出された価値をいい、家計外支出を除けば県民経済計算の県内総生産にほぼ対応している。粗付加価値額は、家計外消費支出、雇用者所得、営業余剰、資本減耗引当、間接税、及び（控除）経常補助金から構成されている。

(2) 粗付加価値額誘発額 5億6,003万円、本県名目GDPの押し上げ効果0.0236%

経済波及効果により生じる粗付加価値誘発額は、5億6,003万円となった。

その内訳は、直接効果が3億7,064万円、間接1次波及効果が1億3,660万円、間接2次波及効果が7,783万円となった。これは、令和3年(2021年)度県内総生産(名目)2兆3,764億円に対し、0.0246%の押し上げ効果があったことになる。

(3) 雇用者所得誘発額 2億9,977万円、雇用効果 133人

粗付加価値額のうち、雇用者に分配される雇用者所得誘発額は、2億9,977万円となった。この雇用者所得誘発額が、それぞれの産業の雇用創出にも影響を及ぼす場合、雇用者数を県内総生産で除して得られる雇用係数を用いて、雇用効果を算出すると、133人の雇用効果を創出したことになる。

※雇用者総数＝有給役員＋常用雇用者＋臨時・日雇

(4) 税収効果 3,491万円(県税1,511万円、市町村税1,980万円)

土佐の「おきゃく」2024がもたらす税収効果について、高知県全体で得られる効果を算出した結果、高知県税として1,511万円、高知県内の市町村税として1,980万円、計3,491万円となった。

7. 前回(2023年)との比較

前回(2023年)と比較すると、土佐の「おきゃく」2024開催による直接効果は2億8,151万円(+68.9%)の増加、間接1次波及効果・間接2次波及効果を含めた経済波及効果は4億1,522万円(+67.0%)の増加となった(図表-6)。また、来場者数は9万186人と前回と比べ約2.1倍の増加、コロナ前の2019年と比較しても22.1%の増加となった(図表-7)。コロナ5類移行前で、感染症対策を十分に施しながら開催された前回と比べて、経済波及効果、来場者数が大幅に増加し、土佐の「おきゃく」が始まった2006年以降最も大きくなった。

図表-6 経済波及効果の比較

	直接効果①	間接1次 波及効果②	間接2次 波及効果③	経済波及効果 (①+②+③)
2019年	5億3,889万円	1億8,368万円	1億2,494万円	8億4,751万円
2023年	4億836万円	1億3,638万円	7,490万円	6億1,964万円
2024年	6億8,987万円	2億3,055万円	1億1,444万円	10億3,486万円
前年比 (増減率)	2億8,151万円 (68.9%)	9,417万円 (69.0%)	3,954万円 (52.8%)	4億1,522万円 (67.0%)

図表－７ 来場者数内訳の比較

(単位：人、%)

		高知県内		高知県外		合計
		日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客	
2019 年	来場者数	61,809	2,822	3,617	5,644	73,892
	構成比	83.6	3.8	4.9	7.6	100.0
2023 年	来場者数	35,973	1,579	1,722	3,560	42,834
	構成比	84.0	3.7	4.0	8.3	100.0
2024 年	来場者数	81,084	1,213	2,731	5,158	90,186
	構成比	89.9	1.3	3.0	5.7	100.0
前年比	来場者数	45,111	▲366	1,009	1,598	47,352
	増減率	125.4	▲23.2	58.6	44.9	110.5

※各構成比は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計値は100%とならない

一人当たりの観光消費額を見ると、全ての属性において前年比で増加した。特に、県外日帰り観光客は土産代などを中心に大幅に増加し、全体で前年比3,601円(44.1%)増となった。また、全ての属性において「飲食費」が前年比で増加しており、営業時間の制限がなく、幅広い地域で多様なイベントが開催されたことによる効果が表れていると考えられる(図表－8)。

図表－8 一人当たり観光消費額の比較

【県内観光客】

(単位：円)

		宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他	合計
日帰り客	2019年	－	1,503	825	1,581	434	4,343
	2023年	－	2,971	396	461	142	3,970
	2024年	－	3,234	353	672	58	4,317
	前年比	－	263	▲43	211	▲84	347
	(増減率)	－	(8.9%)	(▲10.9%)	(45.8%)	(▲59.2%)	(8.7%)
宿泊客	2019年	5,663	4,838	1,885	2,088	548	15,022
	2023年	8,500	5,955	4,455	2,227	2,818	23,955
	2024年	11,688	7,800	2,344	2,250	181	24,263
	前年比	3,188	1,845	▲2,111	23	▲2,637	308
	(増減率)	(37.5%)	(31.0%)	(▲47.4%)	(1.0%)	(▲93.6%)	(1.3%)

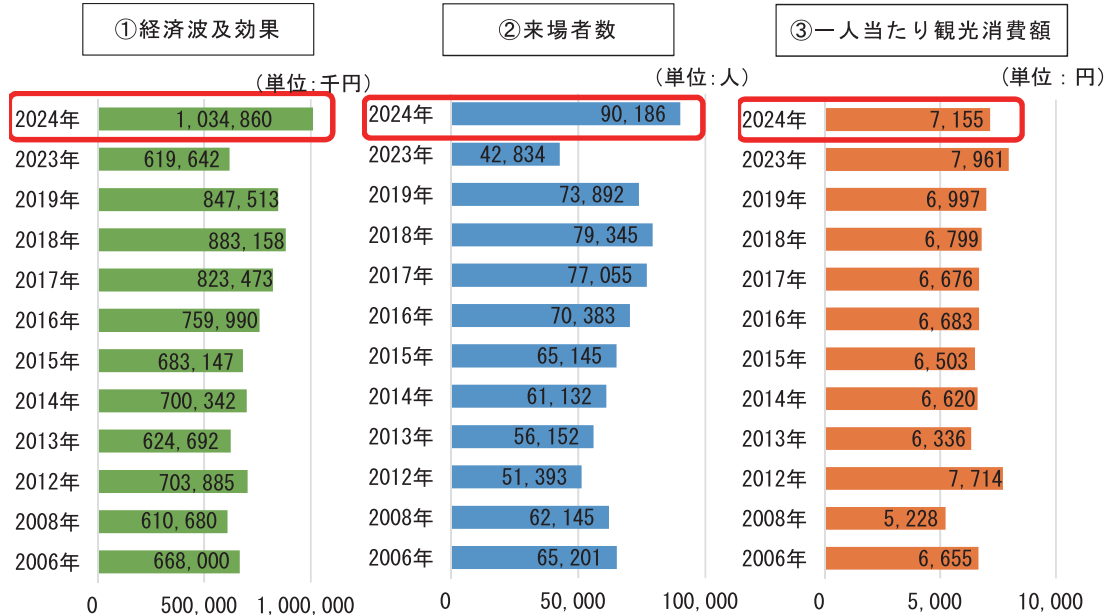
【県外観光客】

(単位：円)

		宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他	合計
日帰り客	2019年	－	2,945	3,405	2,725	648	9,723
	2023年	－	3,816	2,856	1,461	39	8,172
	2024年	－	3,985	4,154	3,519	115	11,773
	前年比	－	169	1,298	2,058	76	3,601
	(増減率)	－	(4.4%)	(45.4%)	(140.9%)	(194.9%)	(44.1%)
宿泊客	2019年	9,402	7,104	8,189	4,530	1,075	30,300
	2023年	13,818	8,153	12,255	6,156	716	41,098
	2024年	12,283	11,074	11,963	5,331	847	41,498
	前年比	▲1,535	2,921	▲292	▲825	131	400
	(増減率)	(▲11.1%)	(35.8%)	(▲2.4%)	(▲13.4%)	(18.3%)	(1.0%)

また、2006年以降の推計データと比較すると、一人当たりの観光消費額は、県内日帰り客の割合が増加し、相対的に消費単価が減少したことから、前年比806円（▲10.1%）の減少となったものの、3番目に大きい結果となった（図表－9）。

図表－9 経済波及効果、来場者数、一人当たり観光消費額の推移



(注) 分析のために使用した「産業連関表」が調査年ごとに異なるため、単純な比較はできない。

(注) 「③一人当たり観光消費額」は、来場客属性（県内・県外、日帰り・宿泊）ごとの観光消費額を加重平均したもの

おわりに

土佐の「おきゃく」2024はイベント数を前年から大きく増やすとともに（2023年：28イベント→2024年：43イベント）、「安芸のおきゃく（安芸市）」や「高知県東部でどぶろくお客列車（土佐くろしお鉄道、ごめん・なはり線）」、「物部川流域まったりお酒バスツアー（南国市・香美市・香南市）」、「ハマスイおきゃく（桂浜水族館）」など、中央公園以外の幅広い地域でイベントが開催された。また、県内外へのポスター設置、各種 SNS（Instagram、Facebook）にて例年以上の情報発信を行ったことで、過去最高の来場者数・経済波及効果となった。今後も魅力的なイベントを多数開催し、効果的な情報発信を行うことで、県内の幅広い地域に「おきゃく」の効果が広がっていくことが期待される。

【参考資料①】キャッシュレス決済の活用について

公益財団法人 NIRA 総合研究開発機構の「キャッシュレス決済実態調査2023（速報）」によると、個人の消費支出額におけるキャッシュレス決済比率は70.6%となり、2018年に同機構が実施した調査と比較して19.3%増加した。また決済手段の内訳をみると、「QR バーコード＋タッチ決済」については0.7%（2018年）から9.2%（2023年）と約13倍以上に伸びており、主要な決済手段となりつつある（図表－10）ほか、「クレジットカード」の比率も31.0%（2018年）から41.1%（2023年）と10.1%増加しており、現金での支払比率29.4%（100%－70.6%）を大きく上回った。

図表-10 個人の消費支出額におけるキャッシュレス決済比率

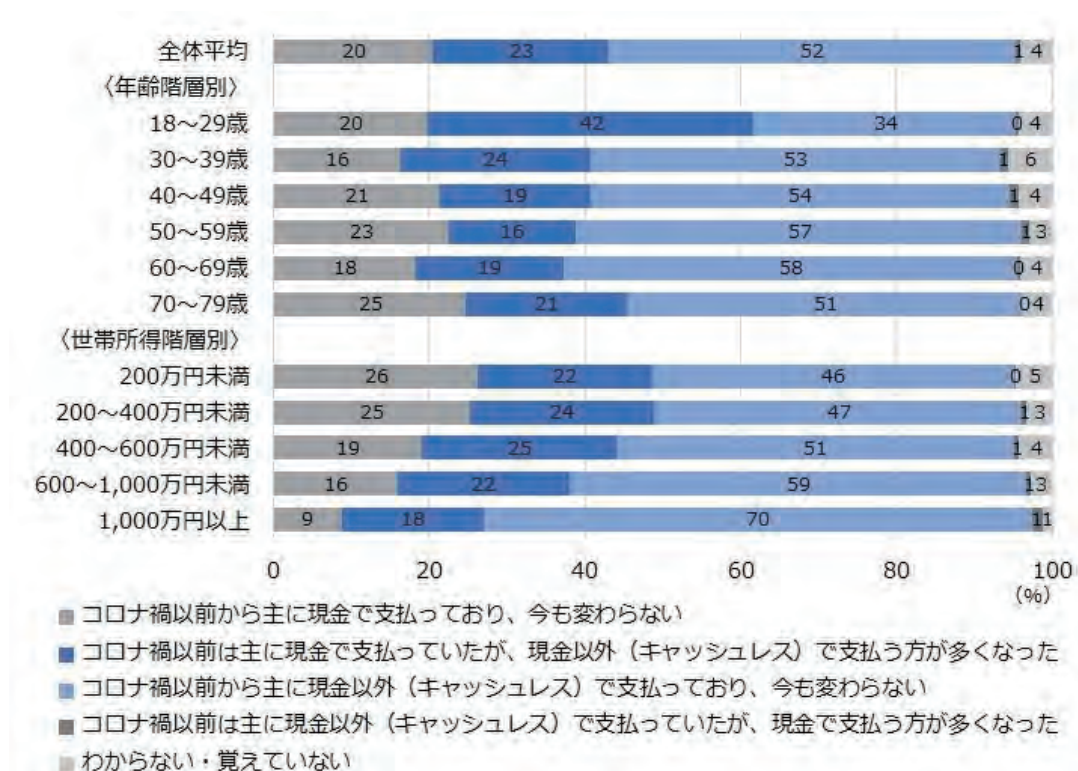
(単位：%)

	2023	2018	差
キャッシュレス決済比率	70.6	51.2	19.3
(内訳)			
クレジットカード	41.1	31.0	10.1
口座引き落とし	10.0	10.4	-0.3
QRバーコード+タッチ決済	9.2	0.7	8.6
プリペイド式電子マネー	4.9	4.9	0.0
インターネットバンキング	1.5	1.5	0.1
デビットカード	1.4	0.8	0.6
キャッシュカードで振込	1.4	0.9	0.5
その他現金以外	0.7	0.8	0.0
給与天引き	0.2	0.2	-0.1
NFT・暗号資産	0.0	0.1	-0.1

(資料) NIRA 総合研究開発機構 (2023)「キャッシュレス決済実態調査2023 (速報)」

また、コロナ禍を経て「キャッシュレスで支払う方が多くなった」と回答した人が23%となり、コロナ禍以前からキャッシュレスで支払っている人を含めると75%となった(図表-11)。このことから、キャッシュレス決済の導入は、来場者の支払手段として必須条件となりつつある。

図表-11 コロナ禍の前後での支払い方法の変化

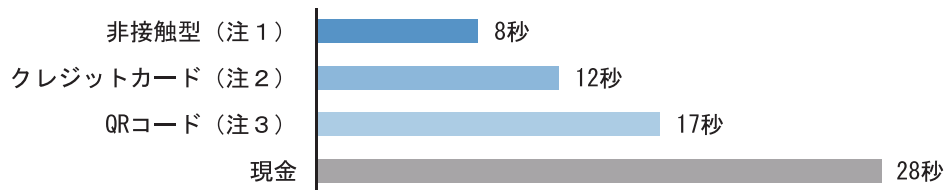


(資料) NIRA 総合研究開発機構 (2023)「キャッシュレス決済実態調査2023 (速報)」

一方出店者側にとっても、キャッシュレス決済導入により、「支払時間の削減」というメリットが生まれる。2019年に株式会社ジェーシービーが実施した「決済速度に関する実証実験」によると、現金のレジ支払(レジ担当者の金額口頭提示から、商品・レシートのお渡しまでに要した時間)が平均28秒か

かったのに対し、QRコード決済は平均17秒、クレジットカード（サインレス）が平均12秒、電子マネー（QUICPay）は平均8秒で決済が完了した（図表-12）。例えば、来客数が1日あたり500人の店舗がQRコード決済を導入すれば、約75分の時間短縮となり、調理や接客など他の業務に割ける時間が増えるだけでなく、混雑緩和により機会損失を防ぐこともできる。今回株式会社NTTドコモの提供により、中央公園イベント出店者の決済手段として「d払い」が提供されたが、例えば「楽天ペイ」「d払い」「au PAY」などが統一QRコードで利用できる統一規格「JPQR」を用いた決済手段を活用することにより、出店者の業務負担や初期投資を抑えながら、キャッシュレス化を進めていくことが求められる。

図表-12 決済手段別の決済速度



（注1）「QUICPay」を指す

（注2）サインレスによる決済

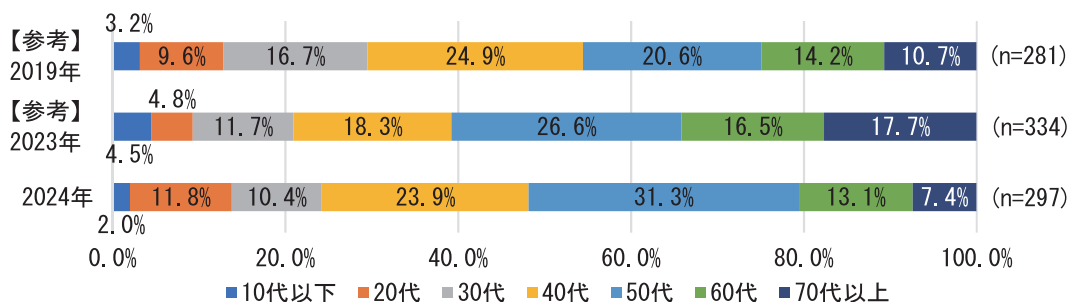
（注3）代表的なQRコード決済サービスより4種類使用し測定

（資料）株式会社ジェーシービー（2019）「決済速度に関する実証実験結果」

【参考資料②】来場者アンケート調査結果¹

（1）年齢

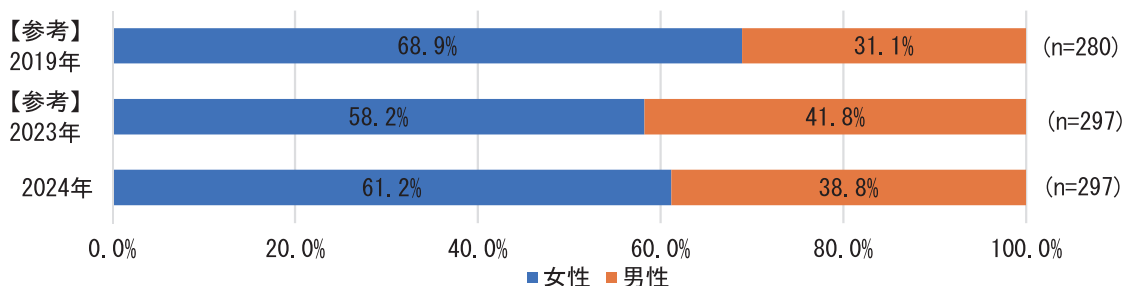
土佐の「おきゃく」2024来場者の年齢は、「50代」が31.3%と最も多く、次いで「40代（23.9%）」、「60代（13.1%）」となった。20代や50代の来場者が増加し、コロナ前の2019年を上回った一方、30代は前回2023年よりも1.3%減少した。



（2）性別

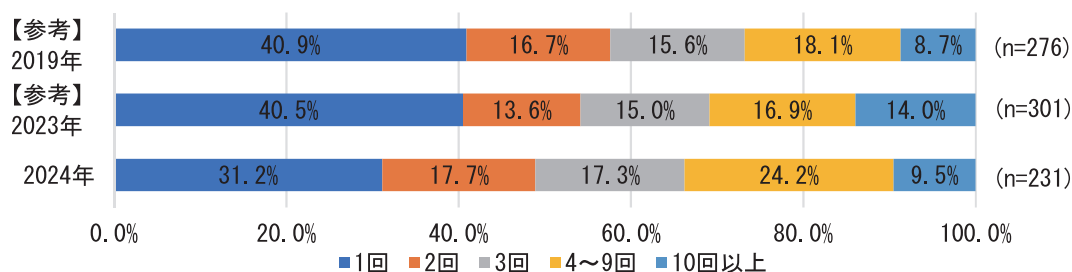
来場者の性別は、「女性」が61.2%と、「男性（38.8%）」を大きく上回った。例年女性の来場者が多い傾向にある。

¹ 構成比は少数点第2位以下を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とにならない。



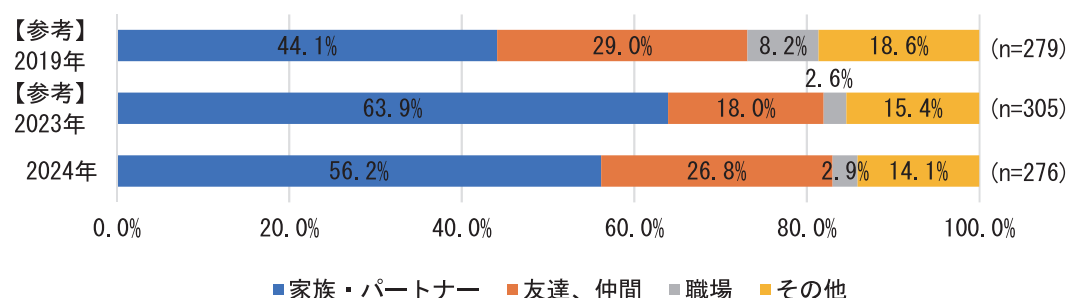
(3) 何回目の参加か

これまでに、土佐の「おきゃく」に何回参加したかを尋ねたところ、「1回」が31.2%で最も多くなった。一方「2回目」以上のリピーターの割合は、2019年：59.1%→2023年：59.5%→2024年：68.8%と増加傾向にある。



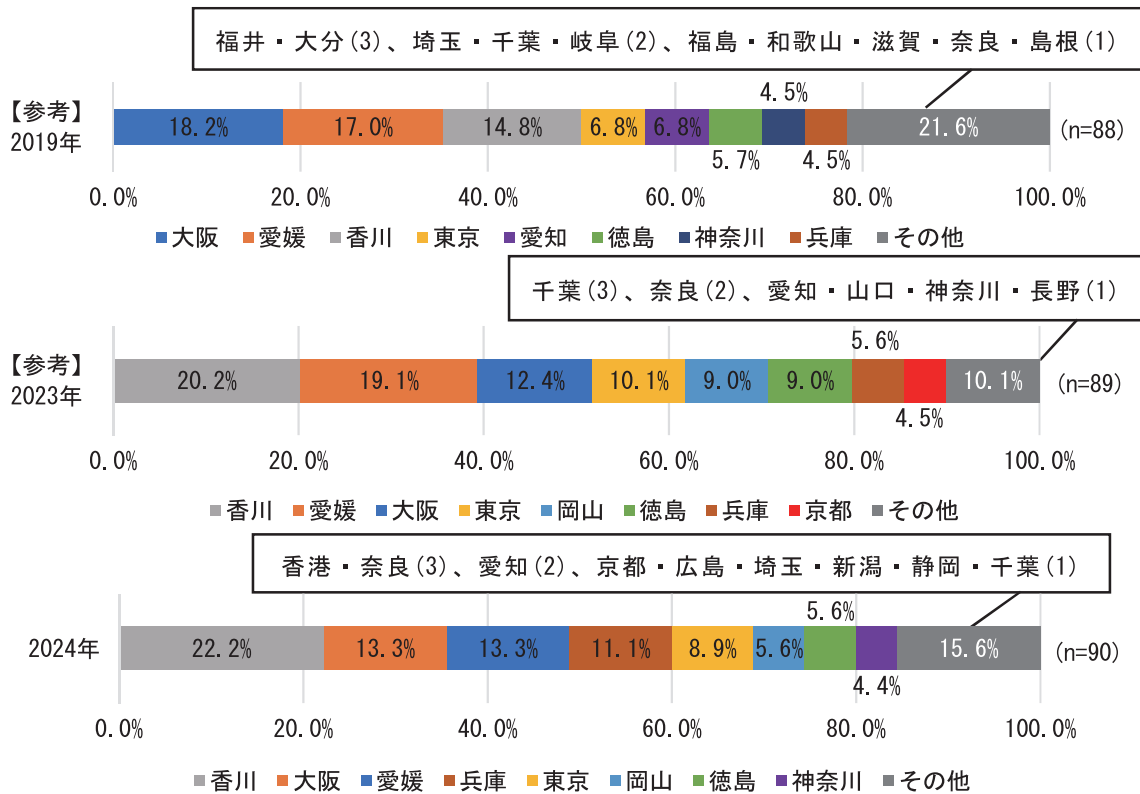
(4) 同行者の属性

同行者の属性について尋ねたところ、「家族・パートナー」と来場した人が全体の56.2%を占め、次いで「友達、仲間」が26.8%、「職場」が2.9%となった。コロナ禍を経て、「友達、仲間」の割合が回復した一方、「職場」の割合は回復していない。



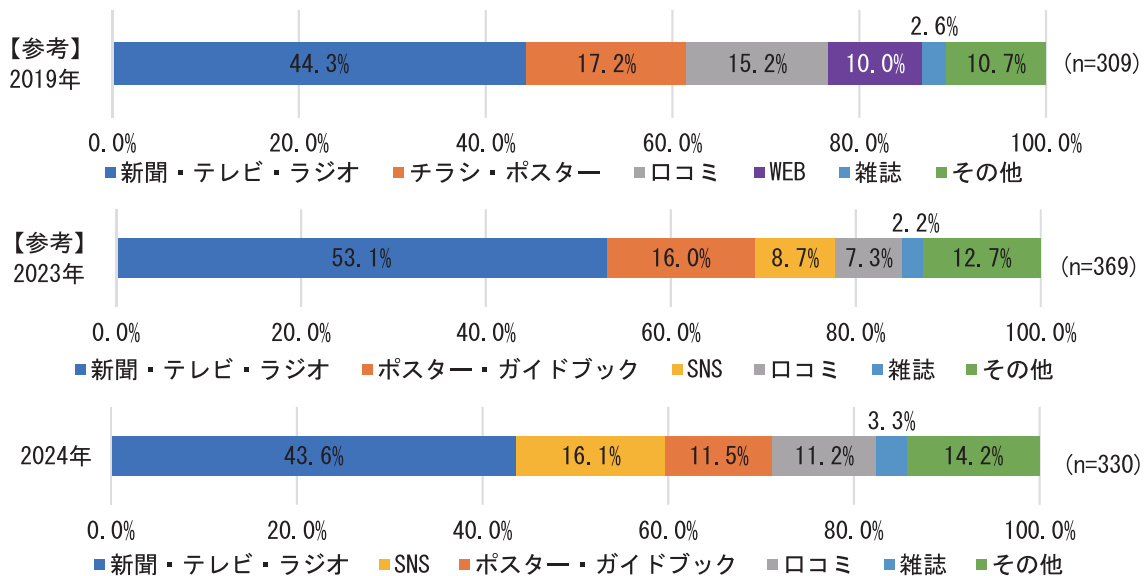
(5) 出発地

県外観光客に対し出発地を尋ねたところ、香川県が22.2%と最も大きくなった。また大阪(13.3%)や兵庫(11.1%)など、関西圏の割合が増加している。引き続き関西圏を中心に、直行便のある福岡、愛知、台湾などにも情報発信をすることにより、更なる観光客の入込が期待される。



(6) ①何で知ったか (複数回答)

土佐の「おきゃく」を何で知ったかについて尋ねたところ、「新聞・テレビ・ラジオ」が43.6%と最も大きくなった。「SNS」による認知は、例年以上の情報発信により、前回2023年の2倍程度(16.1%)となった。大多数を県内客が占めることから、2024年においても「新聞・テレビ・ラジオ」の割合が一番多くなっている。また、「ポスター・ガイドブック」の認知は減少傾向にある(2019年：17.2%→2023年：16.0%→2024年：11.5%)。



②何で知ったか（県外客のみ、複数回答）

県外客については、「SNS」、「口コミ」が20.8%、「新聞・テレビ・ラジオ」が15.8%、「ポスター・ガイドブック」が9.9%となった。「SNS」での積極的な情報発信により、県外来場者にも認知されたほか、知人などからの純粋な「口コミ」による来場者が多く、土佐の「おきゃく」の満足度の高さが、新たな県外客を呼び込む要因となっていると推察される。また、「その他」の項目では、「毎年来ている」といったリピーターの回答のほか、現地で土佐の「おきゃく」を知り参加したという回答もみられた。

